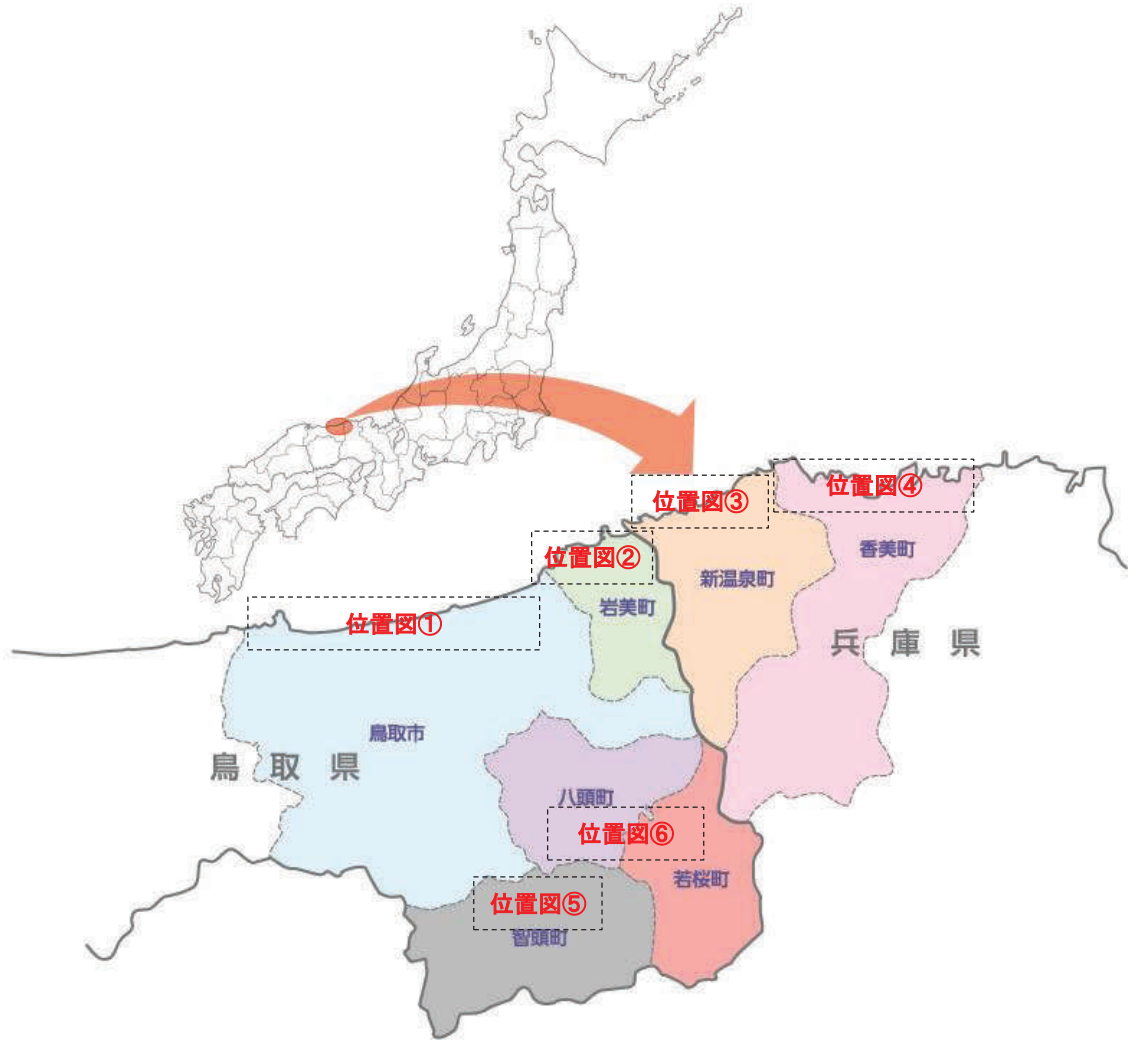


① 申請者	◎鳥取県鳥取市、岩美町、 若桜町、智頭町、八頭町、 兵庫県香美町、新温泉町	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
(ふりがな)	にほんかいのかぜがうんだげつけいとひきょうーしあわせをよぶれいじゅう・きりんがまうだいち「いなば・たじま」		
<b>日本海の風が生んだ絶景と秘境ー幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」</b>			
④ ストーリーの概要（200字程度）			
<p>日本海から吹きつける季節風が創り上げた日本最大級の鳥取砂丘。目に見えぬ風の姿がさざ波模様の風紋に映し出され、海岸を進むと風が起こす荒波に削り出された奇岩が連なる。鳥取砂丘の砂を生み出す中国山地へと急流を辿ると、風がもたらす豪雪に育まれた杉林を背に豪邸が佇む。さらに源流へと分け入ると岩窟の中に古堂が姿を現す。</p> <p>これらは日本海の風が生んだ絶景と秘境である。</p> <p>人々は、厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に、古来より幸せを呼ぶ麒麟獅子を舞い続け、麒麟に出会う旅人にも幸せを分け与えている。</p>			
			
			

## ※昨年度申請実績

平成30年度申請タイトル
<b>日本海の風が創り出す絶景ー幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」</b>
変更内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーリーについて、鳥取砂丘（砂）の魅力の打ち出し、絶景、秘境と共生する人々の営みや麒麟獅子舞と風との関係性を強化し、建造物を中心に構成文化財を追加するなど見直しを行った。</li> <li>・地域活性化計画について、麒麟獅子舞を体験・体感できるよう、受入環境を充実する取組を強化したほか、DMOの中に推進組織を設置し、行政が企画・運営を下支えする実施体制に見直した。</li> </ul>

市町村の位置図（地図等）



※複数ページにわたっても可

構成文化財の位置図 (地図等)

※国土地理院地図データをもとに作成

位置図① (鳥取県鳥取市)



位置図② (鳥取県岩美町)

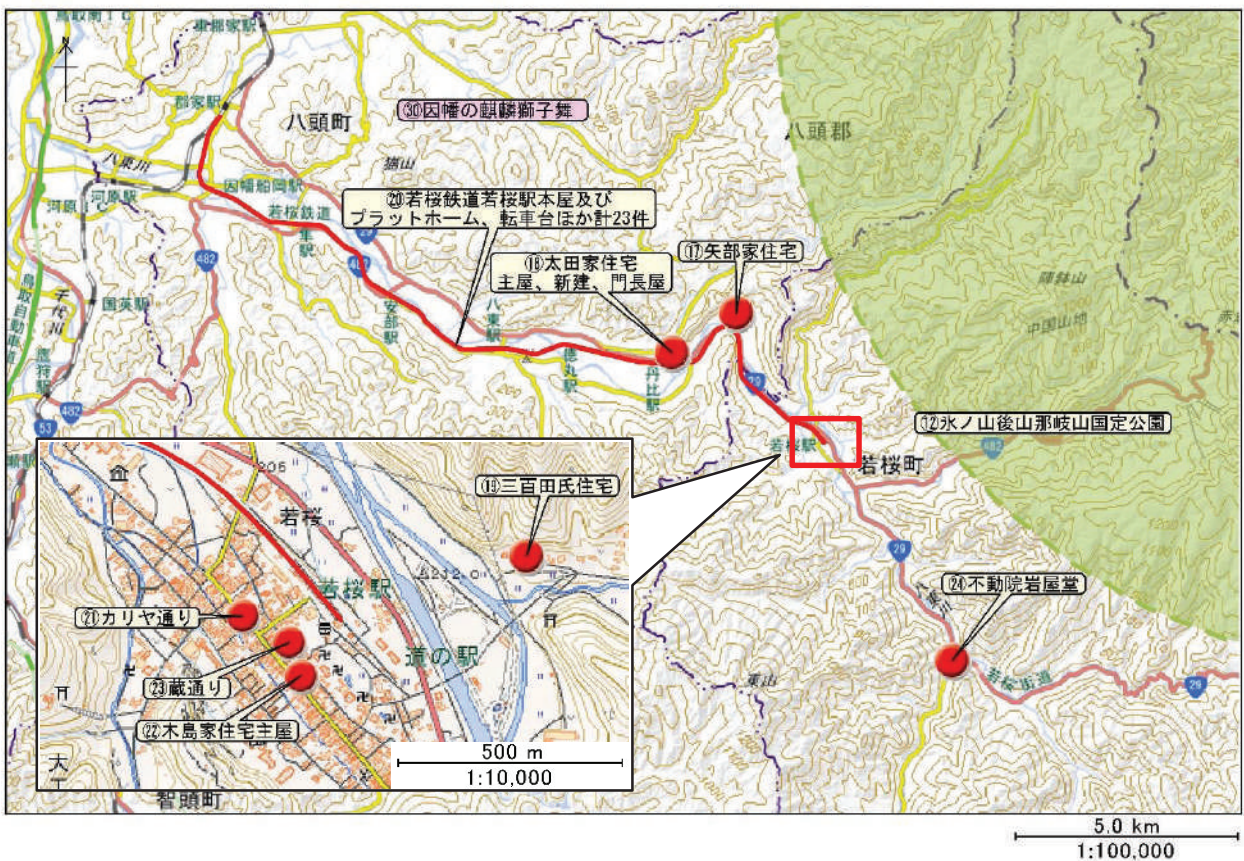




位置図⑤(鳥取県智頭町)



位置図⑥(鳥取県若桜町・八頭町)



ストーリー

鳥取砂丘を創り出す日本海から吹く「風」

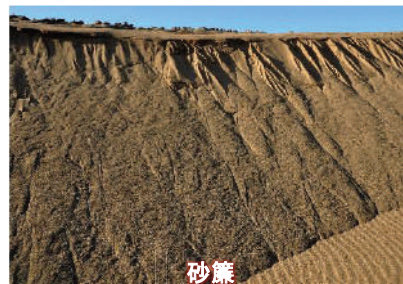
中国地方の北側、山陰東部に位置する因幡・但馬地方は、北は日本海に面し、背後に中国山地の高い山々が連なっている。この地域に吹きつける日本海からの激しい北西の季節風は、中国山地にぶつかり、「山雪」と呼ばれる豪雪を山間部にもたらすとともに、鉛色の海に海岸を削る荒波を起し、川が山地の岩石を砕いて海まで運んだ砂を巻き上げ、日本最大級の「鳥取砂丘」を誕生させる。



日本海からの季節風が起こす荒波

風が育む「砂」の賜物

見渡す限り、一面に広がる砂。ある時は豪快に、またある時は穏やかにその表情を変える。鳥取砂丘では、高低差が90mにもなるダイナミックな起伏をキャンパスに、さざ波模様の「風紋」をはじめ、砂がスタレ状に滑り落ちる「砂簾」や砂が高く隆起する「砂柱」など、目には見えない風の姿が描かれている。砂のキャンパスに足跡を残しながら「馬の背」と呼ばれる巨大な砂の壁を登り詰めると、日本海を超えて辿り着いたばかりの風を感じることができる。鳥取砂丘は、中国山地から流れ出た岩石が川の流れにより砕かれ、砂となって海へと運ばれた後、長い年月をかけて風の吹き返しにより大砂丘へと成長を遂げたものである。その西端にある「不増不減の池」は、季節を問わず水の量が一定に保たれ、古事記に登場する因幡の白兔が体を洗ったとされる。



砂簾



砂柱

荒波が運ぶ砂は鳥取砂丘を創り出すだけでなく、海に砂が帯状となって伸び出す砂州を成長させ、波静かな数多くの潟湖を人々に与えた。約2,000年前の弥生人たちは、潟湖を港として利用した青谷上寺地遺跡の地に、中国大陸や日本列島各地との交易を行った証を大量に残しており、当時の技術や芸術性の高さを今に伝えている。



青谷上寺地遺跡出土品 砂の彫刻「砂像」

こうした大地の営みを一つの遺産として、人々は砂の彫刻「砂像」で新たな造形美を創り出すなど、砂の魅力を自らの手で進化させている。

風が育む「波」の賜物

鳥取砂丘から日本海に沿って進むと、荒波が岩を削り取って造形した龍や獅子の躍動する姿を思わせる奇岩や洞窟、断崖、入り江を白く彩る砂浜など、約50kmにもわたって連なる多彩な海岸地形の世界を楽しむことができる。崖上や深く切り込んだ入り江などの人の往来が困難な場所に荒波を避けて点在する漁村集落や、山が海に迫る崖を跨ぐ鉄道として敷設された「余部鉄橋」は、複雑に入り組んだ海岸と人との共生の歩みを象徴しており、空の駅と呼ばれる天高く延びる鉄橋からの大パノラマは訪れる人々を魅了する。



多彩な海岸地形（但馬御火浦）

日本海を見下ろす崖上の岬に立地する「御崎集落」は、他の集落との交流が隔絶されたことで、平家の落人伝説が残る。そこでは、眼を描いた的を源氏に見立てて101本の矢を射る「百手の儀式」を今も見ることができる。



崖上に佇む御崎集落と百手の儀式

これらの漁村集落では、松葉ガニ漁や白イカ漁の拠点となる港が賑わいを見せ、風に耐える板囲いをした家が重なり合うように軒を連ねている。江戸時代から続くこうした佇まいは、美しい海岸線とともに、風が起こす荒波と共生する人々の暮らしと漁業の繁栄を表している。



余部鉄橋「空の駅」

## 風が育む「雪」の賜物

鳥取砂丘の砂を生み出す中国山地へと急流を遡ると、冬には「山雪」に深く覆われる山郷へ辿り着く。そこでは無数の深い谷の奥に茅葺屋根の小さな山村がひっそりと隠れ、鬱蒼とした杉林を背に豪邸が佇む。

山間部の繁栄を象徴する「石谷家住宅」は、かつて宿場町として栄えた古い町並みに佇む大正期に建築された豪邸で、広大な敷地の中に7つの蔵と40を超える部屋を有する。主屋の土間に入ると、巨木を使った梁組が14mもの高さに組まれており、訪れる者を圧倒する。

こうした大邸宅は、江戸時代から続く林業の繁栄によって生まれたもので、高窓からの採光や太い梁・柱などに豪雪への備えを見ることが出来る。冬の豪雪と寒さは、枝が雪の重さで下向きに成長する木目の詰まった天然の杉を誕生させ、人々はこの天然杉を挿し木で増やし、この地に適した優良大径木の杉林を育てあげた。樹齢約350年の「慶長杉」と呼ばれる日本最古の人工林は、山を生業の場とした長い歴史を物語り、繁栄をもたらした杉への感謝の念は、杉の精霊を祀る白い三角形の塔を御神体とする「杉神社」となって表れている。杉の人工林と里山の天然林が織りなす美しい林業景観では、酒蔵や家々の軒先に吊るされた杉玉と冬の雪灯籠の灯りが、杉の香りとともに旅人を出迎えてくれる。

杉材や木炭などの森林資源の輸送路として、昭和初期に開業した「若桜鉄道若桜線」では、開業時に建てられた木造の駅舎が立ち並び、終着駅に降り立つと、手動式の転車台で転回する蒸気機関車が残っている。駅前には積雪に耐える赤瓦を葺いた白壁の土蔵が立ち並び、豪雪対策として家の庇を道路側に伸ばした「カリヤ」と呼ばれるアーケードと山からの清流を運ぶ水路が通りに沿って続いている。これらは明治18年の大火を契機に、住民自らが設置したものであり、カリヤの下では、雪の日でも水路のせせらぎとともに人々の話し声が今も響いている。雪化粧が似合うこの町を背に、さらに源流へと分け入ると、仰ぎ見る天然の岩窟に、舞台造りの「不動院岩屋堂」がすっぽりとおさまり、神仏の宿る岩窟の中では、村人たちが1,000年以上もの間、護摩の煙を立ち昇らせている。



土間上の巨木の梁組



高窓からの採光

カリヤ通り



山雪に覆われる不動院岩屋堂

## 風の季節での無事と感謝を胸に舞われる「麒麟獅子舞」

この地では一角をもつ黄金の頭に緋色の衣装を纏った「麒麟獅子舞」が、約180の村々に継承され、舞われている。

麒麟は他の生き物を傷つけない泰平の世の象徴とされた中国に伝わる霊獣で、約370年前に初代鳥取藩主・池田光仲が偉大な曾祖父・徳川家康を祀るために創建した神社の祭礼で、麒麟の顔を持つ獅子舞として初めて姿を現した。きらびやかなその姿を見た人々は、幸せを呼ぶ存在として、自分たちの村の祭りにも取り入れたいと強く願った。麒麟獅子はその顔や舞の作法など、村ごとに異なる個性と形態を生みながら、この地に広がり受け継がれていった。

風は砂・波・雪の賜物を人々に与えた一方で、飛砂や荒波、豪雪などの厳しい自然に対峙する暮らしを人々に課してきた。これから迎える厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に、人々は古来より幸せを呼ぶ麒麟獅子を舞い続け、麒麟に出会う旅人にも幸せを分け与えている。

因幡・但馬は、日本海から吹きつける風と人の共生の地であり、麒麟獅子を心のよりどころに、砂・波・雪の厳しい自然を受け入れ、風とともに生きる人々の知恵と逞しく生き抜いてきた歴史が息づいている。



港町の祭礼で舞う麒麟獅子



神社の祭礼で舞う麒麟獅子

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	ふりがな 文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	とっとりさきゆう 鳥取砂丘	国天然記念物	中国山地から流れ出た岩石が、川の流れにより砕かれ砂となり、風の吹き返しによって海に寄せ集められ形成された日本最大級の海岸砂丘。起伏の大きさによる雄大な景観を特徴とし、目に見えない風の姿を「風紋」や「砂簾」、「砂柱」などの多様な造形を通して見ることができる。	鳥取県鳥取市
②	かつら み いせきしゅつどじょうもんじだいいぶつ 桂見遺跡出土縄文時代遺物 いっかつ 一括	県指定保護文化財(考古資料)	この地域の人々が、砂が堆積し海岸部に形成される潟湖を利用した生活を古くから営んでいたことを示す丸木舟や櫂などの遺物。	鳥取県鳥取市
③	はくとじんじやじゆそう 白兔神社樹叢	国天然記念物	神話「因幡の白兔」で知られる白兔神社の樹叢。白兔が体を洗ったとされる不増不減の池は、鳥取砂丘の西端にあり、岩盤と砂丘の境界にあるため、季節を問わず水量が一定で、砂丘形成の歴史を示す証となっている。	鳥取県鳥取市
④	あおやかみじちいせき 青谷上寺地遺跡	国史跡	精巧な木製品をはじめ、多種多様な遺物が非常に良好な保存状態で出土した「地下の弥生博物館」として知られ、潟湖を利用した人々の暮らしを知ることができる。古代の日本海側の交易の拠点と考えられている。	鳥取県鳥取市
⑤	しんおんせんちようはまさかあじわらがわちく 新温泉町浜坂味原川地区	県重要文化財活用地区(伝統的建造物群)	川が運ぶ土砂が波や海流により運ばれ、堆積した砂州の上に形成された町並み。周辺より高く、水はけが良いため、軟弱な地盤や水害に耐えるよう積み上げた石垣の上に、明治初期の商家や高瀬舟の船着き場、船荷の上げ下ろしを行った階段等が残る。	兵庫県新温泉町
⑥	うらどめかいがん 浦富海岸	国名勝・天然記念物	風が起こす荒波に浸食され、創り出された断崖絶壁や洞窟、奇岩などが連なる。松や菜の花が自生する離れ岩もあり、青く透き通った海とのコントラストが絶景。	鳥取県岩美町

⑦	たじまみほのうら 但馬御火浦	国名勝・天然 記念物	龍や獅子の姿を思わせる奇岩や洞門など、荒波が創り出した岩石海岸が約8kmにわたり続く。かつては陸路での往来が困難な程入り組んでおり、主な交通手段であった漁船による海上タクシーが今も運航する。	兵庫県新温泉町
⑧	かすみかいがん 香住海岸	国名勝	背後に山が迫り、入り組んだ海岸線が特徴で、入り江や河口部以外は、荒波が削り出した切り立った岩や地層がむき出しになっており、彫刻作品のような岩石海岸が連なる。	兵庫県香美町
⑨	いなば たじまえんがん がんせきかいがん 因幡・但馬沿岸の岩石海岸の ぎよそんしゅうらく 漁村集落	未指定（文化的 景観）	大きな入り江（夏泊・田後・網代・浜坂・香住）は松葉ガニ漁等の拠点に、小さな入り江（酒津・居組・釜屋・諸寄・三尾・余部・鑑・柴山・無南垣・浜安木・相谷）は風待ち港などに利用される。崖上にある「御崎集落」は、平家落人の伝承をもち、村の始祖を祀る祭礼等にその歴史を留めている。こうした集落では、風雪に耐える板囲いをした家が重なり合うように軒を連ねている。	鳥取県鳥取市・岩美町・兵庫県香美町・新温泉町
⑩	あまるべてつきょう 余部鉄橋	未指定（有形 〔建造物〕）	高さ約40mの崖を横断する橋梁として、明治45年に初代の鋼製トレスル橋が設置。現在は2代目となり、初代の橋は「空の駅」展望施設として生まれ変わっている。	兵庫県香美町
⑪	ももて ぎしき 百手の儀式	未指定（民俗 文化財〔風俗 習慣〕）	強風にさらされる断崖に佇み、平家の落人を祖とする「御崎集落」に残る伝統行事。氏神の境内で源氏に見立てた眼を描いた的に、3人の少年が101本の矢を射こむ神事。	兵庫県香美町
⑫	ひょうの せんうしろやまなぎさんこくていこうえん 氷ノ山後山那岐山国定公園	未指定（名勝 〔山岳〕）	氷ノ山をはじめ、標高1,000mを超える高く険しい山々が連なり、冬に大陸から吹き寄せる季節風を受け止め、「山雪」を降らせる。風がもたらす重い雪は、強い杉を育む環境を生み出し、林業を発展させた。	鳥取県鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町・兵庫県香美町・新温泉町
⑬	ちづ りんぎょうけいかん 智頭の林業景観	国重要文化的 景観	枝が雪の重みで地面に押さえつけられて発根する沖ノ山天然杉の性質を利用した育苗・造林技術の確立により形成された杉の人工林と天然の森林、江戸時代から続く人々の林業への営みから生まれたもので、茅葺民家の山村集落や宿場町、旧街道、森林鉄道の軌道跡等が残る文化的景観。	鳥取県智頭町

⑭	ちづちょういたいばらでんとうてまけんぞうぶつぐん 智頭町板井原伝統的建造物群 保存地区	県選定伝統的 建造物群保存 地区	杉林に隠され、「六尺道」と呼ばれる幅1.8mの古道以外に交通路の無かった標高約430mにある山村。茅葺き屋根の古民家、水車、炭焼き小屋など、杉林に守られながら暮らした生活の場が昔のまま残る。	鳥取県智頭町
⑮	すぎじんじや 杉神社	未指定（有形 〔建造物〕）	杉を神格化した神社で、町民が私財を投じ建立した。三角錐の形は、杉の姿を表現している。	鳥取県智頭町
⑯	いしたにけじゅうたく 石谷家住宅	国重要文化財 （建造物）	江戸時代の宿場町に佇む大邸宅。杉が多用され、3,000坪の敷地の中に、山で働く人の作業場、巨木の梁組が見渡せる吹き抜けの土間や40を超える部屋を有する山主の住居、7棟の蔵をもつ。宿場町の名残をとどめる町並みには、酒蔵や家々の軒先に杉玉が吊るされ、冬には雪灯籠が立ち並ぶ。	鳥取県智頭町
⑰	やべけじゅうたく 矢部家住宅	国指定重要文化財（建造物）	江戸時代に大庄屋を務め、当時の上層農家の佇まいを残す格調高い建築。茅葺屋根や太い柱などに雪への備えが施されている。	鳥取県八頭町
⑱	おおたけじゅうたくしゅおく しんがて もん 太田家住宅主屋、新建、門 ながや 長屋	国登録有形文化財（建造物）	中国山地を背に主屋や新建、数棟の土蔵が建つ。土間の高窓から採光を取り入れるなど、雪深い気候に対応した造りが施されている。	鳥取県八頭町
⑲	さんびやくだしじゅうたく 三百田氏住宅	県指定保護文化財（建造物）	因幡地方の最奥の村で、江戸時代に庄屋を務めた旧家。中国山地を背に茅葺屋根、太い梁や柱など、雪深い気候に対応した造りが施されている。	鳥取県若桜町
⑳	わかきてつどうわかさなきほんやおよ 若桜鉄道若桜駅本屋及びプラットホーム、転車台ほか計23 けん 件	国登録有形文化財（建造物）	杉材や木炭の輸送路として、昭和5年に開業した森林鉄道。木造の駅舎群や石積みのプラットホーム、橋脚、「雪覆」と呼ばれる山から線路への落雪を防ぐトンネル、流雪溝などが開業当時のまま残る。終着駅では、手動式の転車台で転回する蒸気機関車の運転体験を行っている。	鳥取県若桜町、八頭町
㉑	かりやどお カリヤ通り	未指定（伝統的建造物群）	家の庇を道路側に1.2m伸ばし、雪の時にも軒下を通れるようにしたアーケード。雪と共存する生活の知恵として、現在も活用されている。通りに沿って流れる水路は防火用水や流雪路の役割も持つ。	鳥取県若桜町

②②	きしまけじゆうたくしゅおく 木島家住宅主屋	国登録有形文化財(建造物)	明治18年の大火を機に、若桜宿の復興計画として定めた「宿議決書」に基づき、明治20年に建築。典型的なカリヤを持つ建築で、現在は休憩・交流所として活用されている。	鳥取県若桜町
②③	くらどお 蔵通り	未指定(伝統的建造物群)	積雪に耐える赤瓦を葺いた白壁、下見板張りの土蔵が約300mにわたり連なる。明治18年の大火を機に、住民主導の都市計画に基づき整備され、妻入の土蔵が立ち並ぶ景観は、通りに落雪しない配慮によるものといわれる。	鳥取県若桜町
②④	ふどういんいわやどう 不動院岩屋堂	国指定重要文化財(建造物)	杉の大木の間から覗く天然の岩窟に佇む舞台造りの建造物で、南北朝時代の建立とされる。豪雪が雪解け水となり、岩を浸食したことで形づくられたとされる岩窟を、先人は神仏の宿る場所として利用した。	鳥取県若桜町
②⑤	とっとりじょうあつけたりたいこうがなる 鳥取城跡附太閤ヶ平	国史跡	麒麟獅子舞をこの地に登場させた初代鳥取藩主・池田光仲の居城。かつて荒波が削り出した険しい地形の久松山 <small>きゅうしょうざん</small> に築かれ、戦国時代には堅固な名城として知られた。	鳥取県鳥取市
②⑥	じんふうかく 仁風閣	国指定重要文化財(建造物)	鳥取藩主の池田家が宿舎として鳥取城跡に建築した洋館。明治40年、時の皇太子の山陰行啓時に再興された祭で麒麟獅子が登場し、現在は定期的に舞われ、来訪者に幸せを分け与えている。	鳥取県鳥取市
②⑦	おうちだにじんじやほんでんからもんはいでんおよび 檮谿神社本殿、唐門、拝殿及び幣殿	国重要文化財(建造物)	初代鳥取藩主が善政を誓い、偉大な曾祖父・徳川家康を祀るために鳥取城下町に建立した「東照宮」と呼ばれた神社で、麒麟獅子はその祭礼で初めてこの地に登場した。木立に囲まれた谷間にあり、上質な建物だが素朴な佇まいを見せる。現在の名称は鳥取東照宮。	鳥取県鳥取市
②⑧	うべじんじや 宇倍神社	未指定(有形[建造物])	因幡一宮で、古くから信仰を集める神社。中絶しかけた東照宮祭礼の麒麟獅子舞を継承し、村々にその流れを伝えた。現在は獅子頭で参拝者の頭を噛むなど、幸せを授けている。	鳥取県鳥取市
②⑨	ひじりじんじやほんでんはいでんおよび 聖神社本殿、拝殿及び幣殿	県指定保護文化財(建造物)	宇倍神社同様、古くから信仰を集める有力な神社で、中絶しかけた東照宮祭礼の麒麟獅子舞を継承し、村々にその流れを伝えた。	鳥取県鳥取市

<p>③⑩</p>	<p>いなば きりんししまい 因幡の麒麟獅子舞</p> <p>[県指定]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおわ さみのみことじんじやししまい 大和佐美命神社獅子舞</li> <li>・ うべじんじやししまい 宇倍神社獅子舞</li> <li>・ しもあじのじんじやししまい 下味野神社の麒麟獅子舞</li> <li>・ くらたはちまんぐう きりんししまい 倉田八幡宮の麒麟獅子舞</li> <li>・ かろじんじやししまい 賀露神社の麒麟獅子舞</li> <li>・ むしじんじやししまい 虫井神社の麒麟獅子舞</li> <li>・ さわじんじやししまい 澤神社の麒麟獅子舞</li> </ul>	<p>国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財</p> <p>鳥取県指定無形民俗文化財7件・未指定を合わせ173件</p>	<p>霊獣・麒麟の顔を持つ獅子舞で、初代鳥取藩主が創建した東照宮の祭礼に初めて姿を現した。幸せを呼ぶ存在として、因幡地方の村々に受け継がれている。緩やかな舞や囃子の特徴とする。厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に舞われ、この地で出会う旅人にも幸せを分け与えている。</p>	<p>鳥取県鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町</p>
<p>③⑪</p>	<p>たじま きりんししまい 但馬の麒麟獅子舞</p> <p>[県指定]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うつのじんじやししまい 宇都野神社麒麟獅子舞</li> <li>・ みお きりんししまい 三尾の麒麟獅子舞</li> <li>・ いぐみきりんししまい 居組麒麟獅子舞</li> </ul> <p>[香美町指定]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よろいきりんししまい 鎧麒麟獅子舞</li> </ul> <p>[新温泉町指定]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふくどめきりんししまい 福富麒麟獅子舞</li> <li>・ もろよせきりんししまい 諸寄麒麟獅子舞</li> <li>・ わだ きりんししまい 和田麒麟獅子舞</li> <li>・ とちだにたぎみきりんししまい 枳谷田君麒麟獅子舞</li> <li>・ しちかまきりんししまい 七釜麒麟獅子舞</li> <li>・ ちだにきりんししまい 千谷麒麟獅子舞</li> </ul>	<p>国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財</p> <p>兵庫県指定無形民俗文化財3件・香美町指定無形民俗文化財1件・新温泉町指定民俗文化財6件</p>	<p>東照宮の祭礼に登場した麒麟獅子舞が、但馬地方の香美町、新温泉町にも広がり、幸せを呼ぶ存在として受け継がれている。軽快な舞や囃子の特徴とし、因幡地方とは違った伝承が見られる。厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に舞われ、この地で出会う旅人にも幸せを分け与えている。</p>	<p>兵庫県香美町・新温泉町</p>

(※1) 文化財の名称には振り仮名を付けること。

(※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること(例:国史跡、国重文(工芸品)、県史跡、県有形、市無形、未指定(建造物)、等)。なお、**未指定であっても文化財保護の体系に基づいた分類を記載**すること。

(※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること(単に文化財の説明にならないように注意すること)。

(※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること(複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

## 構成文化財の写真一覧

① とっとりさきゅう うま せ 鳥取砂丘 (馬の背)



④ あおやかみじ ちいせき しゅつどひん 青谷上寺地遺跡 (出土品)



② かつら み いせき しゅつどじょうもんじだいいぶついつかつ 桂見遺跡出土縄文時代遺物一括



⑤ しんおんせんちょうはまさかあじわらがわ ちく 新温泉町浜坂味原川地区



③ はくとじんじやじゆそう 白兔神社樹叢



⑥ うらどめかいがん 浦富海岸



⑦ 但馬御火浦 (龍宮洞門)



⑩ 余部鉄橋



⑧ 香住海岸 (鎧の袖)



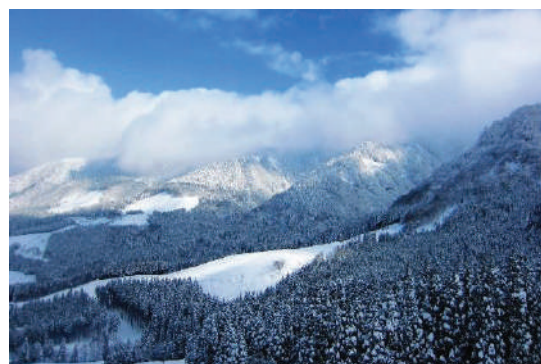
⑪ 百手の儀式



⑨ 因幡・但馬沿岸の岩石海岸の漁村集落  
(崖上に立地する御崎集落)



⑫ 氷ノ山後山那岐山国定公園



⑬ ちづ りんぎょうけいかん 智頭の林業景観



⑭ いしたにけじゅうたく 石谷家住宅



⑮ ちづちやういたいばらでんとうてきけんぞうぶつぐんほぞんちく 智頭町板井原伝統的建造物群保存地区



⑯ やべけじゅうたく 矢部家住宅



⑰ すぎじんじや 杉神社



⑱ おおたけじゅうたくしゅおく しんだて もんながや 太田家住宅主屋、新建、門長屋



⑱ きんぴやくだしじゅうたく 三百田氏住宅



㉒ きしまけじゅうたくしゅおく 木島家住宅主屋



㉔ わかさてつどうわかさきほんやおよ  
てんしやだい けい けん 若桜鉄道若桜駅本屋及びプラットホーム、  
転車台ほか計23件



㉓ くらどお 蔵通り



㉑ どお カリヤ通り



㉔ ふどういんいわやどう 不動院岩屋堂



とっとりじょうあとつけたりたいこうがなる  
②⑤ 鳥取城跡 附 太閤ヶ平



うべじんじや  
②⑧ 宇倍神社



じんぶうかく  
②⑥ 仁風閣



ひじりじんじやほんでん はいでんおよ へいでん  
②⑨ 聖神社本殿、拝殿及び幣殿



おうちだにじんじや ほんでん からもん はいでんおよ へいでん  
②⑦ 檮谿神社 本殿、唐門、拝殿及び幣殿



いなば きりんじしまい さわじんじや  
③⑩ 因幡の麒麟獅子舞 (澤神社)



③① たじま 但馬の きりんじしまい 麒麟獅子舞 ( うつのじんじや 宇都野神社 )



## 日本遺産を通じた地域活性化計画

認定番号	日本遺産のタイトル
78	日本海の風が生んだ絶景と秘境 -幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」

## (1) 将来像 (ビジョン)

山陰東部に位置する因幡・但馬地方において、鳥取県鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町と兵庫県香美町、新温泉町の1市6町で構成する「麒麟のまち圏域」では、それぞれが持つ特色と圏域内連携の工夫で、日本海から吹き付ける「風」をテーマにしたストーリーを引き続き国内外に発信していく。構成文化財のオンリーワンの魅力を活かしながら、来訪者目線での観光誘客や物産振興に取り組むことで地域の活性化に繋げ、圏域住民や事業者が誇りと愛着を持ち、持続可能な「麒麟のまち圏域」ならではの発展・好循環を目指す。具体的に実現を目指す将来像は以下のとおり。

受け入れ環境の整備、情報発信の推進と地域の稼ぐ力の創出に向けて取組を続けることで、地域の総合力の底上げに繋げていく。

## 1 国内外からの観光客が行き交う、にぎわいあふれる圏域

## ～受け入れ環境の整備、情報発信の推進～

ストーリーに根差した複数の構成文化財をガイドできる人材の育成（多言語対応を含む）、日本遺産拠点施設・構成文化財の多言語解説など、受け入れ環境の整備を進め、圏域内の移動など2次交通の充実を行うとともに、高付加価値のあるホテルや構成文化財の周辺の古民家を活用した宿泊施設の整備を促進する。また、WebサイトやSNS等のデジタル媒体を効果的に使った情報発信、県内から航空直行便のある台湾・香港への積極的なプロモーションを行う。

2024年に過去最高となり、今後も大阪・関西万博を契機に増加が見込まれる訪日外国人観光客を本圏域へ誘客し、にぎわいあふれる圏域を目指す。

## 2 歴史文化と自然を活かした活力あふれる圏域

## ～地域の稼ぐ力の創出～

ストーリーの軸となっている「砂」「波」「雪」「麒麟獅子舞」をテーマにした食メニューの開発、構成文化財の魅力を活かした付加価値のある体験を伴う、着地型まち歩きガイド付き旅行商品・周遊モデルコースの造成を行う。また、圏域内に点在する「温泉」やユネスコ無形文化遺産に登録されている「和食」「和紙」「伝統的酒造り」等、地域資源を掘り起こし、体験と構成文化財を繋げていく取組や山陰海岸ジオパークとの連携による取組を行うことで、来訪者の消費額の拡大をもたらし、活力あふれる圏域を目指す。

### 3 住民が誇りに感じる、笑顔あふれる圏域

#### ～地域の総合力の底上げ～

上記1、2の内容に加えて、地域住民やDMO・民間団体・行政機関等が役割分担を明確にし、圏域全体で取り組む体制の構築を行い、地域住民の主体性を育みながら「観光地として選ばれるエリア」を目指し、官民連携・構成自治体間連携を強めていく。

人口減少が加速するなかでも地域の活力を失わぬよう、高齢化が進む中でも伝統文化や産業の継承や、地域活動の促進を通じて誰もが活躍できるサイクルを確立し、地域という舞台が魅力溢れるものとなるために人材育成・確保の取組に力を注ぎ、明るい未来への懸け橋となる笑顔あふれる圏域を目指す。

※「第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン（令和5～9年度）」

「因幡・但馬麒麟のまち創生総合戦略（ビジョンの重点事業）（令和6～9年度）」

※構成自治体の地方版総合戦略 「第2期鳥取市創生総合戦略（令和3～7年度）」、「第3期岩美町地域創生総合戦略（令和6～9年度）」、「第2期若桜町総合戦略（令和3～7年度）」「第2期智頭町総合戦略（令和7～11年度）」、「第2期八頭町総合戦略（令和7～11年度）」「第2期香美町総合戦略（令和3～7年度）」、「第2期新温泉町地方創生総合戦略（令和4～8年度）」

(2) 地域活性化計画における目標

※各目標に対し、複数の指標を設定可

目標①：地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること						
指標①-A：各構成文化財を訪れて理解・関心を深めた人数（人）						
年度	実績			目標		
	2022	2023	2024	2025	2026	2027
数値	1,800,000	1,900,000	2,400,000	2,600,000	2,800,000	3,000,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		各構成文化財へ訪れた人数。 2024年の各構成文化財の来訪者数の約10%ずつの増加を目標に設定。				

目標①：地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること						
指標①-B：ガイド付き着地型商品購入者数（人）						
年度	実績			目標		
	2022	2023	2024	2025	2026	2027
数値	—	—	—	15	90	160
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		ガイド付き着地型旅行商品を購入した人数。 2025年に造成するガイド付き着地型旅行商品の購入者数をDMOが設定した目標。				

目標②：地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること						
指標②-A：地域の歴史文化に誇り・愛着を感じる住民の割合（%）						
年度	実績			目標		
	2022	2023	2024	2025	2026	2027
数値	—	—	38 (鳥取市民アンケート)	42	46	50
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法		「日本遺産を誇りに感じるか。」という趣旨の圏域住民へアンケート調査を行った割合。 2024年の鳥取市民アンケート結果を元に、3年後50%を目標に設定。				

目標③：日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること						
指標③－A：日本遺産関連で開発された商品・サービス数（件）						
年度	実績			目標		
	2022	2023	2024	2025	2026	2027
数値	30	36	38	42	47	52
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	認定ストーリーや構成文化財等を活用した食事メニューやお土産物、旅行商品・体験商品等造成件数。（累計） 2024年の商品・サービス数の10%ずつの増加を目標に設定。					

目標④：日本遺産のストーリー・構成文化財の持続的な保存・活用が行われること						
指標④－A：ふるさと納税の寄付額（円）						
年度	実績			目標		
	2022	2023	2024	2025	2026	2027
数値	24,770,000	16,134,000	10,646,000 (4～12月)	18,500,000	21,200,000	24,300,000
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	寄付額のうち「日本遺産または構成文化財の保存活用など」に対して納付された額。 2022年は寄付者数も前年の約2倍と突出しており特殊事情があったものと予想され、以前の傾向より2023年の15%ずつの増加を目標に設定。					

目標⑤：地域への経済効果も含め広く波及効果が生じること						
指標⑤－A：県外客宿泊者一人当たりの旅行消費額（円）						
年度	実績			目標		
	2022	2023	2024	2025	2026	2027
数値	30,823	32,648	33,766	34,667	35,081	35,482
指標・目標値の設定の考え方及び把握方法	鳥取県観光客入込動態調査消費額。 鳥取県の県外客かつ宿泊客の旅行消費単価からDMOが設定した目標。					

### (3) 地域活性化のための取組の概要

#### ビジョン1：国内外からの観光客が行き交い、にぎわいのあふれる圏域

##### ① 構成文化財の保存と活用に係る施設整備

【成果と課題】構成文化財解説版の整備を行い、その解説版に多言語翻訳サイトに繋がるQRコードを設置した。インフォメーションコーナーも道の駅など20か所設置しPRに努めた。ガイダンス施設整備は鳥取城跡周辺に整備を検討中。経年劣化が進む建物などの構成文化財は引き続き適切な修繕を行い、維持管理していく必要がある。また、周遊環境の整備も進める必要がある。

【対策と取組】引き続き、各自治体で構成文化財の適切な保存修理を行うが、一部の構成文化財で行っているクラウドファンディングによる修繕費用の確保を他の構成文化財にも広げていく。また、周遊バスのキャッシュレス化、シェアサイクル事業、グリーンスローモビリティの運行、遠隔観光案内システムの導入等を行い二次交通環境の整備を図るとともにガイダンス施設整備について検討を進める。

##### ② マーケティング調査に基づいたインバウンド対応

【成果と課題】海外向け動画作成やホームページの多言語化等、海外向け情報発信を行うとともに、鳥取港に寄港したクルーズ船客へのPR等を行うも、観光庁の行う宿泊統計調査の結果では、圏域の中心市である鳥取市への外国人宿泊者数はコロナ禍前の2019年のピーク時と比較し2023年で約51.7%、2024年で現在調査結果が公表されている1月～11月までの2019年同期比で72.6%となっており、回復基調ではあるものの2024年に過去最高を記録した訪日外国人観光客の圏域への誘客は十分でなく、魅力ある取組が必要。

【対策と取組】インバウンド対応のマーケティング調査による嗜好性の分析を行うとともに、着地型まちあるきガイド付き旅行商品を造成してOTA掲載するなど誘客促進に取り組む。米子空港と台湾・香港との直行便就航に伴い、県とも共同での商談会への参加、現地人気ブロガーによるFAMトリップを予定するなどの海外プロモーションを行っていく。また、鳥取砂丘西側にマリオット・インターナショナルの最高級ホテルブランド「ラグジュアリーコレクション」の誘致が決定し2028年6月の開業を進めているとともに、鳥取商工会議所は古民家の改修による宿泊施設の検討を進めており、民間と益々の連携を図り、様々な客層の宿泊・滞在に繋げる。

#### ビジョン2：“歴史文化”と“自然”とを融合させた魅力あふれる圏域

##### ① ストーリーを軸にした商品造成

【成果と課題】デジタルスタンプラリー・モニターツアー等実施してはいるが、取組を商品造成に繋げていくための、実現性のある取組が大切。ストーリーの中では「麒麟獅子舞」を軸とした体験プログラムが中心となっており、「風が育む砂・波・雪」に対する関連商品の充実が必要。また、今まで以上に地域

の個人と事業者を巻込んだ方策を検討することが急務である。

**【対策と取組】**ストーリーを色によるリ・ブランディング（例）「砂＝ベージュ、波＝ブルー、雪＝ホワイト」を行い、商品造成に繋げていく。特に地元食材やオーガニック食材を活用した食メニューを地元飲食業者と共に開発する。「カニ・エビ・牛・ジビエ」など地域食材との相乗効果を高めながら、食べ歩きスタンプラリー等、構成文化財を巡るモデルコースを作成し、地域経済の好循環へ波及させていく。

## ② 地域資源を生かした体験プラン等の造成

**【成果と課題】**「温泉」「伝統文化」「食」を組み合わせたガストロノミーウォーキングを実施するなどの取組は行っているが、「温泉」との更なる連携、地域資源を生かしたものづくり体験への繋がりなど、圏域全体に波及する高付加価値なコンテンツの開発が必要。また「山陰海岸ジオパーク」と連携することで「砂」や「波」に関連するストーリーの掘り起しを行い、更なる相乗効果を高めていくことも必要。

**【対策と取組】**「癒し」と「食」といった「温泉」の関係事業者と連携しながら、構成文化財と絡めた取組を行い滞在時間や消費額の拡大を図る。貴重な地域資源である「和食」に使う器（民芸）の製作体験や「和紙」の紙すき体験、「酒造り」体験プランを造成し誘客に繋げていく。また、荒波が作り出した海岸など親和性も高い「山陰海岸ジオパーク」との共同イベントを行うなど連携を深め、強みを生かしていく。

## ビジョン3：住民にとって暮らしやすい、笑顔あふれる圏域

### ① 人材育成サイクルと連携体制の確立

**【成果と課題】**民間主導での「麒麟獅子舞フェスタ」の継続開催や、子ども向けワークショップを実施して次世代を担う人材の育成を行っているが、少子高齢化が進む中でも、その世代が将来の日本遺産に関連する取組に携われる環境が必要。また、サポータークラブの登録者を更に活動に巻き込んでいくことやガイド団体の活性化に繋がる横連携など、垣根のない連携体制の構築が必要。

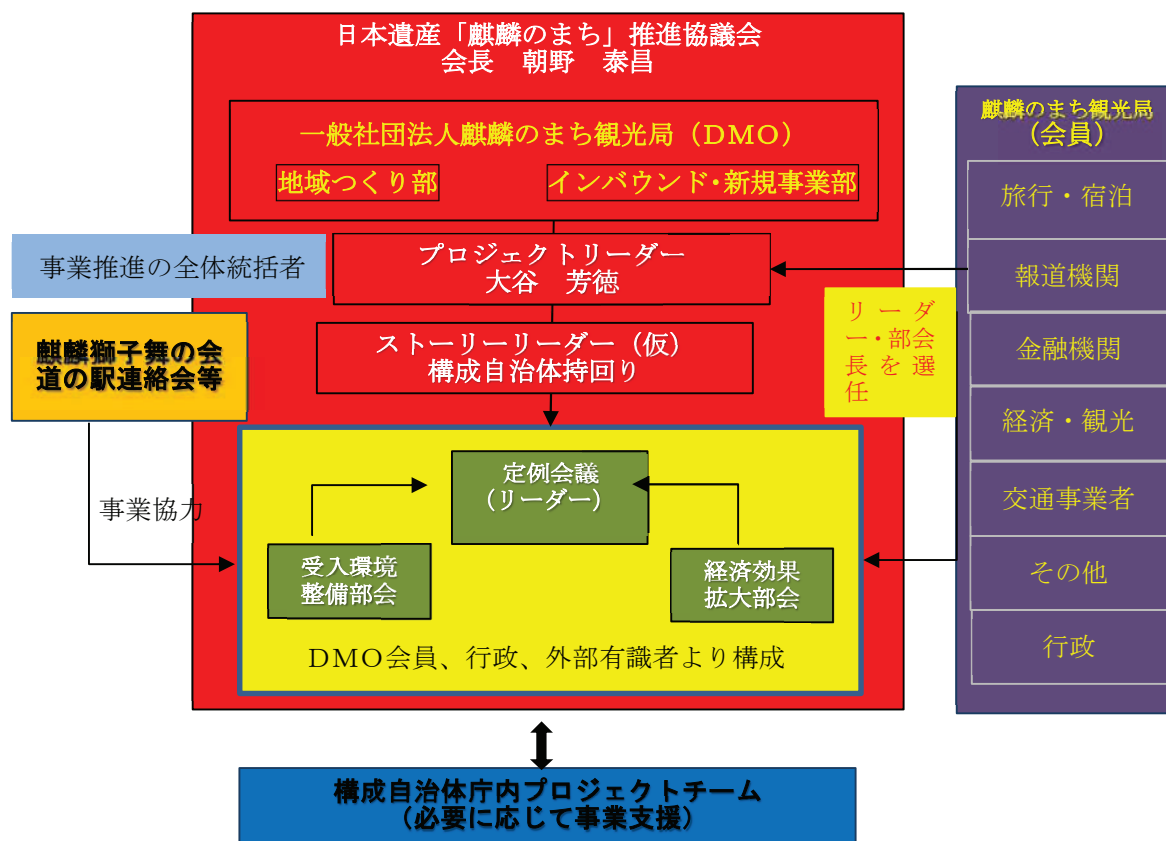
**【対策と取組】**こども麒麟獅子舞の団体は現在6団体活動しているが、こども用獅子頭製作補助金を出すなど育成に力を入れて団体数の増加を図り、高校生の麒麟獅子舞部とも連携しながら各世代で交流の場を設け、担い手育成のサイクルを確立していく。サポータークラブの登録者に各種取組参加スタンプラリー等を実施して活動に巻き込みながら、ガイドの質の向上にも取り組む。また、シリアル型の構成自治体間の密な連携を行うため、持ち回りでのストーリー「砂」「波」「雪」に特化して検討を行うリーダー制度（現状や課題を共有し具体的な検討を行う。）や構成自治体庁内プロジェクトチームの導入等、現状や課題を共有し、具体的な施策・手法などの検討と民間主導の取組の手助けとなるよう支援を行う。

## ② 住民の誇りの醸成と財源の確保

【成果と課題】古くから歴史や文化、生活圏を共有した「麒麟のまち」連携中枢都市圏では日本遺産の取組のみではなく、地方創生の一層の拡充・発展を図り、圏域全体の活性化・持続的発展を目指して取り組んできた。更なる深化を図るため、地域ぐるみで住民が主体となって活動できる環境づくりが必要となっている。実施主体である推進協議会は行政からの委託費や補助金を主な財源としている。今後は、行政に頼らない自立的な事業を展開することが必要。

【対策と取組】「広域リージョン連携」の取組として、圏域創生を新たなステージに移行するため「麒麟のまち創生総合戦略」を令和7年2月に策定した。この戦略には「日本遺産・麒麟獅子舞を生かした圏域活性化事業」と「地域連携DMO支援事業」が重点事業として位置づけられており、本地域活性化計画と合わせて、愛着心を高める「地域学習」等に注力し、地域に貢献しようとする人材を各分野から組み込んだ体制を整備して、圏域全体の経済成長をけん引していく。また、PDCAサイクルによる進行管理を行い、事業の成果を定期的に検証・評価し改善を図っていく。ふるさと納税の拡充はもちろんのこと、関連商品やコンテンツの造成、クラウドファンディングの実施等、財源の確保を促していく。

## (4) 実施体制



### [人材育成・確保の方針]

圏域内の小・中・義務教育学校で日本遺産教育、子ども向けワークショップを継続的に実施することで地域の伝統文化の魅力を学ぶ機会を創出し、将来の担い手を育成していく。また、推進協議会内には各構成自治体の観光協会も会員となっており、活躍している民間事業者から、地域プレイヤーの役割を果たす人材を輩出できるよう、課題認識を共有しプレイヤーをリスト化する。専門家のアドバイスを受け地域ガイド向けや飲食事業者向けワークショップを開催し、観光誘客や物産振興に取り組むだけでなく、圏域全体で横展開・連携を行うことで候補者のすそ野を広げ、人材確保に繋げていく。圏域内に日本遺産に関わる人が増えていくことで、更なる人材確保へ繋がるサイクルの確立を目指していく。

### (5) 日本遺産の取組を行う組織の自立・自走

現在、推進協議会は主に行政からの負担金で運営している。DMOが主体となりながら日本遺産をテーマとした食メニューの開発や着地型まち歩きガイド・体験付き旅行商品の造成及びそれらを活用した周遊モデルコースを作成することで国内外からの誘客促進に繋げていく。併せて旅行商品を販売するためのプッシュ型情報発信の強化と地域の魅力を伝えるスキルを身に付けていくためのガイド人材育成など、受入環境の整備も同時に取り組んでいく。これらの取組を総合的に連動させることで新たな地域ビジネスを創出し、稼ぐ力を身に付けていく。

また、推進協議会の活動の原資となる、行政からの負担金のみの頼ることなく、民間事業者と役割を分担し、相乗的・効果的な事業運営を行いながら推進協議会自らが商品開発・販売収益を上げていく仕組みを構築していくことで自立へと繋げていく。

### (6) 構成文化財の保存と活用の好循環の創出に向けた取組

地域内で子どもから大人まで文化・歴史に対する理解を深め、誇りと愛着心の醸成に繋がるようなワークショップやフェスタなど啓発事業を継続していき、未来に向けて保存・継承活動に取り組む人材の確保、育成が進むように官民連携して取り組むとともに、一部の構成文化財で行っているクラウドファンディングによる修繕費用の確保の横展開を図っていく。更に構成文化財でもあり国の重要無形文化財に指定されている「麒麟獅子舞」のデジタル技術を活用したモーションキャプチャによる舞の動きの3次元データ化、獅子頭を3次元ソフトウェアでデータ化するなどして、保存・復元可能な状態にしていき、そのデータを活用した商品開発へも取り組んでいく。

また、鳥取大学や鳥取環境大学などと連携して日本遺産に関する地域課題の研究にも取り組み、県内4つの日本遺産による「とっとり日本遺産ネットワーク」での課題共有、情報交換も行っていく。

圏域住民・事業者、観光客すべての観点で満足度が高まるよう、構成自治体毎や圏域の総合戦略に掲げた内容を自治体毎で、また圏域で連携して取り組んでいくことで、持続可能な「麒麟のまち圏域」ならではの発展・好循環を目指していく。

(7) 地域活性化のために行う事業

(7) - 1 組織整備

(事業番号 1 - A)

事業名	推進組織体制の充実		
概要	事業計画の円滑な実施に向け、関係者との調整や連携を行う体制の整備・強化を行う。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	民間主導の専門部会の設置	民間団体を主として構成し、ビジョンの実現に向けて受入環境整備部会・経済効果拡大部会(仮)を設置して企画立案を行う。	協議会 民間団体
②	ストーリーに特化した検討・連携強化	構成自治体の持ち回りでストーリーを集中検討する「砂」「波」「雪」のリーダーを設け、現状や課題を共有し、更なる連携強化を行い、具体的な検討を行う。	協議会
③	庁内プロジェクトチームによる事業支援	各自治体内に部局横断的なプロジェクトチームを設置し、民間主導の取組の手助けとなるよう支援を行う。	各自治体
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2022	連携する民間団体数(件)		12
2023			12
2024			14
2025	同上		16
2026	同上		18
2027	同上		20
事業費	2025年度: 500,000 2026年度: 500,000 2027年度: 500,000		
継続に向けた事業設計	麒麟のまち推進協議会を核として、DMOを中心に民間団体との連携、構成自治体間の連携を強め、また、現状や課題を共有し、協議の場を定期的に設けることで、圏域ならではの取組に繋げる。		

(事業番号 1 - B)

事業名	財源の確保		
概要	組織の自立・自走に向けた財源を確保する取組を行う。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	クラウドファンディングによる事業検討	構成文化財の修繕や商品開発にクラウドファンディングによる財源確保の検討を行う。	各自治体協議会
②	ふるさと納税の拡充	構成自治体において日本遺産に関連した取組に用途を指定したふるさと納税の拡充を図り財源を確保する。	各自治体協議会
③			
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2022	クラウドファンディング獲得事業件数 (件)		0
2023			0
2024			2
2025	同上		2
2026	同上		2
2027	同上		2
事業費	2025 年度 : 80,000 2026 年度 : 80,000 2027 年度 : 80,000		
継続に向けた事業設計	日本遺産関連事業に用途を指定したふるさと納税額の拡充及びクラウドファンディングを用いて資金獲得して事業を実施していくこと、特に商品造成に注力し圏域全体で経済を回し、持続可能な取組に繋げる。		

(7) - 2 戦略立案

(事業番号 2 - A)

事業名	計画の策定と効果的な事業実施		
概要	効果的な事業を行うためのニーズ把握を行い、定期的な情報共有や協議を行う。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	推進協議会の開催	定期的な会議開催により、構成自治体間や民間団体との連携強化を図るとともに、事業分析や課題共有を行い、具体的かつ効果的な事業を検討する。	協議会 民間団体
②	DMOによる観光CRMマーケティング調査等の実施	引き続きマーケティング調査等を行い、来訪者や圏域住民から必要な情報を収集し、分析することで独自性・具体性のある戦略的なビジョンの策定に繋げる。	協議会
③	とっとり日本遺産ネットワーク会議への参画	鳥取県が主導する4つの県内の日本遺産が集まるネットワーク会議に参画することで、県内全体で日本遺産の発展に取り組むとともに、課題等の共通認識を行い、相乗効果を創出する。	協議会
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2022	協議会・幹事会・専門部会開催回数（回）		5
2023			5
2024			7
2025	同上		10
2026	同上		12
2027	同上		14
事業費	2025年度：20,000 2026年度：20,000 2027年度：20,000		
継続に向けた事業設計	地域活性化計画における目標や取組等について、定期的に進捗確認し情報共有を図ることで、効果的・計画的に事業を行う。また、マーケティング調査の結果等も広く共有し、PDCAサイクルを回すことで改善を行い、圏域の発展、好循環へ繋げる。		

(7) - 3 人材育成

(事業番号3-A)

事業名	地域プレイヤーの発掘・育成・連携
概要	民間団体など関係機関と協力して人づくりに取り組むとともに、個人・団体同士の連携を強める。

	取組名	取組内容	実施主体
①	次世代を担う人材・事業者の発掘、連携強化	研修・ワークショップを開催するだけにとどまらず、その参加者を巻き込むサイクルを確立し育成・組織化を行うとともに、人材・事業者同士の連携促進を行う。	協議会
②	日本遺産ガイドの育成	地域ガイド向けの勉強会を開催し、専門家のアドバイスを受けながらガイドシナリオのブラッシュアップと台本作成を行うことにより、ガイドのすそ野を広げるとともに、団体ごとの横連携を行う。	協議会
③			
④			

年度	事業評価指標	実績値・目標値
2022	日本遺産新規ガイド人材の数（人）	-
2023		2
2024		-
2025	同上	2
2026	同上	7
2027	同上	4

事業費	2025年度：4,000,000 2026年度：4,000,000 2027年度：4,000,000
-----	--

継続に向けた事業設計	研修・ワークショップを開催しガイド人材等の育成を図り、その人材がキープレイヤーとなって団体等の活性化へ繋げていくとともに、横連携も行うことで更なるスキルアップを図り、インバウンド対応の通訳ガイドへの展開などをめざす。
------------	--

(7) - 4 整備

(事業番号4-A)

事業名	ストーリーを体験するための基盤整備		
概要	構成文化財を快適に周遊できる環境等を整備し、ストーリーに触れる機会を創造する。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	ガイダンス施設の整備	ガイダンス施設の整備に向けて検討を続けるとともに、現施設において、ストーリーを体感でき情報発信に繋がるインフォメーション機能の充実を図る。	協議会
②	サブストーリーの抽出と関連取組実施	地域資源をサブストーリーとして抽出していくなど、サブストーリーと関連する取組を行う。	協議会
③			
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2022	来訪者の満足度調査「大変満足割合」(%)		31
2023			33
2024			34
2025	同上		35
2026	同上		36
2027	同上		37
事業費	2025年度：1,800,000 2026年度：1,800,000 2027年度：1,800,000		
継続に向けた事業設計	地域の特色・資源を生かすため、民間事業者を巻き込みながら、来訪者目線に立った快適な環境整備を計画的・持続的に進める。また、民間事業者と連携して魅力的なサブストーリーを抽出し関連する取組を行う。		

(7) - 5 観光事業化

(事業番号5-A)

事業名	ガイドツアー、体験コンテンツ、ストーリー関連商品の造成・販売		
概要	経済効果を生み出す、ガイドツアー、体験コンテンツ、ストーリー関連商品の造成・販売を行い、魅力発信の一助とし誘客に繋げる。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	ガイドツアー、体験コンテンツ、ストーリー関連商品の造成・販売	地域の歴史や文化、地域資源を盛り込んだ圏域ならではの関連商品の造成・販売を民間事業者と連携を密にしながら実施する。	協議会 民間事業者
②			
③			
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2022	関連商品販売金額（円）		—
2023			—
2024			—
2025	同上		670,000
2026	同上		9,480,000
2027	同上		17,040,000
事業費	2025年度：4,000,000 2026年度：4,000,000 2027年度：4,000,000		
継続に向けた事業設計	マーケティング調査結果等を踏まえた的確な商品造成・販売により収益を上げ、更なる地域の再投資を呼び込むなど、将来へ向け持続可能な地域づくりへ繋げる。		

(7) - 6 普及啓発

(事業番号6-A)

事業名	民間と連携した普及啓発活動		
概要	地域の誇りと愛着に繋がるよう、子どもや住民へ普及啓発事業を実施する。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	学校と連携した児童・生徒への普及啓発	圏域内の学校において日本遺産に関連するふるさと学習を行い、地元文化に誇りと愛着を持つ心を育てる。	協議会
②	地域・民間を巻き込んだ住民への普及啓発	「麒麟獅子舞フェスタ」を民間主導で行うことで、団体間の連携強化を図るとともに理解の深まりに繋げる。	実行委員会
③			
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2022	普及啓発イベント等への参加者数（人） 地域の文化に誇りを感じる人の割合（％）	—	
2023		—	
2024		—	
2025	同上	1,000 以上/80 以上	
2026	同上	1,000 以上/80 以上	
2027	同上	1,000 以上/80 以上	
事業費	2025 年度：2,400,000 2026 年度：2,400,000 2027 年度：2,400,000		
継続に向けた事業設計	認定以来の取組により一定の認知度の向上は見られるものの、今後も各種取組と組み合わせながら、効果的な普及啓発の取組を進めていき、誇りと愛着を持つ住民数の増加へ繋げる。		

(7) - 7 情報編集・発信

(事業番号7-A)

事業名	的確で効果的な情報発信		
概要	興味や関心を引くような、ターゲットをとらえたタイムリーな情報発信を行う。		
	取組名	取組内容	実施主体
①	Webサイトの効果的・継続的な更新	閲覧者数の多い、鳥取市観光コンベンション協会のHPに本協議会のHPを掲載することで、更なる戦略的な情報発信に繋げる。	協議会
②	SNSでの情報発信	公式インスタグラム等で各種取組の情報提供をタイムリーに行うことにより誘客向上に繋げる。	協議会
③			
④			
年度	事業評価指標		実績値・目標値
2022	Webサイトの閲覧数(件)		28,167
2023			44,246
2024			46,232(4~1月)
2025	同上		50,000
2026	同上		70,000
2027	同上		90,000
事業費	2025年度: 3,275,000 2026年度: 3,275,000 2027年度: 3,275,000		
継続に向けた事業設計	趣味嗜好調査結果等によるニーズを的確に把握するとともに、多様なチャンネルによるメリハリのある情報発信を続け、圏域ならではの差別化を図っていく。		